

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 株式会社アシックス
 コード番号 7936 URL <http://www.asics.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾山 基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役・管理統括部長 (氏名) 河合 茂之
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大

TEL 078-303-2213

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	184,623	—	18,700	—	16,234	—	9,728	—
20年3月期第3四半期	166,009	16.7	19,146	14.9	19,688	6.8	12,306	1.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	49.60	—
20年3月期第3四半期	61.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	178,983	102,597	51.4	484.67		
20年3月期	186,065	110,141	53.5	500.83		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 91,932百万円 20年3月期 99,621百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	243,000	7.4	21,000	△10.2	18,000	△14.8	10,500	△19.8	53.94

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 199,962,991株 20年3月期 199,962,991株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 10,282,543株 20年3月期 1,050,085株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 196,137,629株 20年3月期第3四半期 198,959,390株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年11月14日に公表しました連結業績予想は本資料において修正しております。上記の業績予想は、現時点で得られた情報に基づいて算出しております。従って、実際の業績は業況の変化などにより記載の予想とは異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国に端を発した世界的な金融危機等が世界景気を後退させ、また各国の実体経済に波及し企業業績の悪化を招きました。日本経済におきましても、個人消費の伸び悩み、設備投資の減少、雇用情勢の悪化などにより、景気は厳しい状況で推移しました。

スポーツ用品業界につきましては、健康志向によるスポーツへの関心の高まりが見られたものの、競争激化や消費者の購買意欲の低迷などにより、一層厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、引き続きグローバルレベルでのランニング事業の強化・拡大を図るとともに、アスレチック事業のマーケティング体制の強化およびデザインセンターを設置するなど製品力の強化に努めました。

また、欧州における当社グループの旗艦店として「ASICS STORE LONDON」をロンドン市内にオープンするとともに、財団法人日本陸上競技連盟との間で、日本代表チームへの当社製品の提供、選手への支援等を行うオフィシャルパートナーについて合意するなど、販売促進およびアシックスブランドの認知度の向上を図りました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は1,846億2千3百万円と前年同期間比11.2%の増収でした。このうち国内売上高は、平成19年9月21日付で連結子会社としたアシックス商事株式会社の影響に加え、ランニングシューズが好調でしたので678億3千2百万円と前年同期間比13.2%の増収となりました。海外売上高はヨーロッパにおいてスポーツスタイルシューズが低調でしたが、韓国の販売子会社、アシックススポーツコーポレーションが営業活動を開始したことに加え、アメリカでランニングシューズが好調に推移したことにより、1,167億9千1百万円と前年同期間比10.1%の増収となりました。損益につきましては、アシックス商事株式会社およびアシックススポーツコーポレーションによる増益要因があったものの、ヨーロッパにおいてスポーツスタイルシューズが低調であったことなどにより、営業利益は187億円と前年同期間比2.3%の減益となり、経常利益は主に為替差損27億9千5百万円（個別業績における影響額24億3千9百万円）を計上したことにより、162億3千4百万円と前年同期間比17.5%の減益となりました。四半期純利益は投資有価証券評価損を計上したことなどにより、97億2千8百万円と前年同期間比20.9%の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産1,789億8千3百万円（前連結会計年度末比3.8%減）、負債の部合計は、763億8千5百万円（前連結会計年度末比0.6%増）、純資産の部合計は、1,025億9千7百万円（前連結会計年度末比6.8%減）となりました。

またキャッシュ・フローにおきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、278億8千7百万円と前連結会計年度末に比べ83億8千万円増加しました。

なお、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は182億1千5百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益160億5百万円、売上債権の減少額46億9千6百万円、減価償却費23億2千6百万円、たな卸資産の減少額12億4千1百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額56億8千9百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は86億1千4百万円となりました。

支出の主な内訳は、事業譲受に伴う支出54億5千3百万円、有形固定資産の取得による支出34億4千2百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は15億4千7百万円となりました。

収入の主な内訳は、短期借入金の純増加額120億1千万円であり、支出の主な内訳は、自己株式の取得による支出70億3千8百万円、配当金の支払額19億8千8百万円、長期借入金の返済による支出9億5千7百万円、少数株主への配当金の支払額4億1千万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、主に国内売上高が予想を下回る見込みであるため、また、円高の影響による為替差損の計上に加え、投資有価証券評価損の計上が見込まれるため、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益は前回発表数値を下回る見込みです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	248,000	22,000	22,000	13,500	69 35
今回修正予想 (B)	243,000	21,000	18,000	10,500	53 94
増減額 (B - A)	△5,000	△1,000	△4,000	△3,000	—
増減率 (%)	△2.0	△4.5	△18.2	△22.2	—

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる期首の利益剰余金、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産につきましては、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額につきましては収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法につきましては、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,094	20,539
受取手形及び売掛金	54,537	63,030
有価証券	1,330	1,358
商品	2,343	2,198
製品	37,842	43,705
原材料	1,156	1,162
仕掛品	340	306
貯蔵品	65	73
繰延税金資産	5,315	4,392
その他	4,382	7,169
貸倒引当金	△2,846	△3,069
流動資産合計	132,563	140,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,878	28,050
減価償却累計額	△18,744	△18,437
建物及び構築物（純額）	9,133	9,612
機械装置及び運搬具	4,851	6,216
減価償却累計額	△3,522	△4,198
機械装置及び運搬具（純額）	1,328	2,018
工具、器具及び備品	8,233	7,174
減価償却累計額	△6,606	△5,841
工具、器具及び備品（純額）	1,626	1,332
土地	9,393	7,297
リース資産	533	—
減価償却累計額	△44	—
リース資産（純額）	489	—
建設仮勘定	1,046	230
有形固定資産合計	23,016	20,491
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	7,961	10,818
長期貸付金	751	692
繰延税金資産	1,838	1,002
その他	9,933	8,979
貸倒引当金	△572	△561
投資その他の資産合計	19,913	20,931
固定資産合計	46,420	45,198
資産合計	178,983	186,065

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,360	22,271
短期借入金	21,768	11,632
未払費用	5,830	10,159
未払法人税等	2,042	1,334
未払消費税等	197	329
返品調整引当金	368	664
賞与引当金	501	1,418
デリバティブ債務	3,029	1,402
繰延税金負債	676	985
その他	5,941	9,959
流動負債合計	58,716	60,159
固定負債		
長期借入金	4,060	4,931
退職給付引当金	7,442	7,140
デリバティブ債務	4,552	2,304
繰延税金負債	386	328
その他	1,227	1,059
固定負債合計	17,668	15,764
負債合計	76,385	75,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,182	17,182
利益剰余金	61,580	54,214
自己株式	△7,742	△704
株主資本合計	94,992	94,664
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	834	1,958
繰延ヘッジ損益	△1,348	△689
為替換算調整勘定	△2,545	3,688
評価・換算差額等合計	△3,060	4,957
少数株主持分	10,665	10,519
純資産合計	102,597	110,141
負債純資産合計	178,983	186,065

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	184,623
売上原価	104,674
返品調整引当金戻入額	658
返品調整引当金繰入額	373
売上総利益	80,233
販売費及び一般管理費	61,533
営業利益	18,700
営業外収益	
受取利息	519
受取配当金	455
その他	621
営業外収益合計	1,595
営業外費用	
支払利息	428
為替差損	2,795
デリバティブ損失	516
その他	320
営業外費用合計	4,061
経常利益	16,234
特別利益	
固定資産売却益	4
投資有価証券売却益	32
貸倒引当金戻入額	461
特別利益合計	498
特別損失	
固定資産売却損	21
固定資産除却損	27
投資有価証券評価損	642
投資有価証券売却損	35
特別損失合計	727
税金等調整前四半期純利益	16,005
法人税等	5,208
少数株主利益	1,068
四半期純利益	9,728

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	16,005
減価償却費	2,326
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	352
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△917
投資有価証券評価損益 (△は益)	642
投資有価証券売却損益 (△は益)	3
受取利息及び受取配当金	△974
支払利息	442
為替差損益 (△は益)	915
有形固定資産除売却損益 (△は益)	44
その他の損益 (△は益)	2,264
売上債権の増減額 (△は増加)	4,696
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,241
その他の資産の増減額 (△は増加)	537
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,441
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△131
その他の負債の増減額 (△は減少)	△2,891
小計	22,083
利息及び配当金の受取額	974
利息の支払額	△435
法人税等の還付額	1,284
法人税等の支払額	△5,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△421
定期預金の払戻による収入	1,500
有形固定資産の取得による支出	△3,442
有形固定資産の売却による収入	45
無形固定資産の取得による支出	△273
有価証券の純増減額 (△は増加)	△25
投資有価証券の取得による支出	△965
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,323
子会社出資金の取得による支出	△69
子会社株式の取得による支出	△171
事業譲受に伴う支出	△5,453
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△7
長期貸付けによる支出	△119
長期貸付金の回収による収入	60
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,614

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12,010
長期借入金の返済による支出	△957
自己株式の取得による支出	△7,038
少数株主からの払込みによる収入	125
リース債務の返済による支出	△194
配当金の支払額	△1,988
少数株主への配当金の支払額	△410
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,547
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,769
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,380
現金及び現金同等物の期首残高	19,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,887

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項がないため記載しておりません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法および販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のスポーツ用品を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	70,984	41,604	54,295	17,738	184,623	—	184,623
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,571	1	—	531	7,104	(7,104)	—
計	77,555	41,606	54,295	18,269	191,727	(7,104)	184,623
営業利益	3,317	3,064	9,807	2,511	18,701	(1)	18,700

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する国又は地域

① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

② 各区分に属する国又は地域……米州：米国等

欧州：オランダ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス等

その他の地域：オーストラリア、韓国、中国、台湾等

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	米州	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	41,605	53,783	21,402	116,791
II 連結売上高（百万円）				184,623
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合（%）	22.6	29.1	11.6	63.3

(注) 1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

② 各区分に属する主な国又は地域…米州：米国等

欧州：オランダ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス等

その他の地域：オーストラリア、韓国、中国、台湾等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項がないため記載しておりません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (百万円)
I 売上高	166,009
II 売上原価	92,129
売上総利益	73,879
III 販売費及び一般管理費	54,733
営業利益	19,146
IV 営業外収益	2,329
1. 受取利息及び配当金	1,395
2. 持分法による投資利益	259
3. その他	674
V 営業外費用	1,787
1. 支払利息	557
2. その他	1,230
経常利益	19,688
VI 特別利益	769
VII 特別損失	508
税金等調整前四半期純利益	19,949
税金費用	7,038
少数株主利益	603
四半期純利益	12,306

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	19,949
減価償却費	1,926
引当金の増減額	△1,086
受取利息及び受取配当金	△1,395
支払利息	570
持分法による投資利益	△259
売上債権の増減額	3,847
たな卸資産の増減額	2,624
仕入債務の増減額	△4,482
その他	296
小計	21,990
利息及び配当金の受取額	1,471
利息の支払額	△554
法人税等の支払額	△10,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,136
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△411
有形固定資産の取得による支出	△912
有形固定資産の売却による収入	39
無形固定資産の取得による支出	△733
連結範囲の変更を伴う子会社株式取得による収入	1,098
有価証券の増減額	△135
短期貸付金の増減額	22
その他	△483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,515
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	2,202
長期借入金の増減額	△450
少数株主の払込による収入	240
配当金の支払額	△1,655
その他	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	196
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	398
V 現金及び現金同等物の増減額	11,216
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,196
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	21,412

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法および販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のスポーツ用品を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	62,490	38,488	56,699	8,330	166,009	—	166,009
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,416	3	—	552	5,972	(5,972)	—
計	67,907	38,492	56,699	8,883	171,982	(5,972)	166,009
営業費用	64,989	34,953	45,633	7,235	152,811	(5,948)	146,863
営業利益	2,917	3,538	11,066	1,648	19,170	(24)	19,146

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する国又は地域

① 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

② 各区分に属する国又は地域……米州：米国等

欧州：オランダ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス等

その他の地域：オーストラリア、中国、台湾等

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間においては、開示しておりません。

連結分類別売上高

(分類)		前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	27,758	16.7	35,994	19.4	8,236	29.7
	海外	97,049	58.5	104,193	56.5	7,144	7.4
	計	124,807	75.2	140,187	75.9	15,380	12.3
スポーツウエア類	国内	21,491	13.0	21,992	11.9	501	2.3
	海外	7,547	4.5	10,379	5.6	2,832	37.5
	計	29,038	17.5	32,371	17.5	3,333	11.5
スポーツ用具類	国内	10,685	6.4	9,846	5.4	△839	△7.9
	海外	1,479	0.9	2,219	1.2	740	50.0
	計	12,164	7.3	12,065	6.6	△99	△0.8
合計	国内	59,934	36.1	67,832	36.7	7,898	13.2
	海外	106,075	63.9	116,791	63.3	10,715	10.1
	計	166,009	100	184,623	100	18,613	11.2

- (注) スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等
- スポーツウエア類：トレーニングウエア、アスレチックウエア、スクールスポーツウエア、ベースボールウエア、スイムウエア、スポーツスタイルウエア、アウトドアウエア、スキーウエア、スノーボードウエア等
- スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、テーピング、サポーター、栄養補助食品、陸上競技用機器等